

施工説明書

ヒーリング ステーション システム
Healing Station System

業務用

洗髪用

STALLION A 壁付仕様 スタリオン A

目次

[1] 梱包品の確認	1-2 頁
[2] 各部の名称	2-3 頁
[3] 設置の前に	4-5 頁
[4] 使用条件	5 頁
[5] 設置スペースの確認	6 頁
[6] 施工時のシャンプーベッソンの取扱い方法	6 頁
[7] 設置	6-10 頁
[8] ストップバルブのご使用方法	11 頁
[9] ミキシングバルブのご使用方法	11 頁
[10] 通水テスト	11-12 頁
[11] シャワー圧力・シャワー流量の確認	12 頁
[12] ミキシングバルブの調整方法	12 頁
[13] ベッソンのコーキング(シーリング)処理	13 頁
[14] 設置が終わったら	13 頁
[15] 定格仕様・寸法	14 頁
[16] 工事完了後の点検項目	裏表紙



T904-00

施工の前には、この施工説明書をよくご覧の上正しく施工してください。
施工が終了しましたら、裏面の「工事完了後の点検項目」を記入頂き、
この施工説明書をサロン様にお渡しください。

サロン様のお使いになる方は、この施工説明書をいつでも見られる所に
大切に保管してください。

この施工説明書では製品を正しく施工していただき、お客様への危害や
損害を未然に防止するために、注意事項が絵で表示してあります。
全て安全に関する内容ですから、必ずお守りください。

⚠️注意

設置時にベッソンの本体カバーを持って移動させないでください。

本体カバー(樹脂部品)が破損する恐れがあります。

**施工には付属品の逆止弁・ストレーナ付元バルブを必ず、
取付けてください。**

[1] 梱包品の確認

シャンプーユニット本体 (本体カバー・ストップバルブ・ミキシングバルブ・シャワーソケット・壁面取り付けベース等組込済)
バックハンガー

バックハンガー固定用タッピングビス 6×65 8本

ベッシン固定ボルト (M8×18 ボルト・平ワッシャー・袋ナット)

シャワーホース

逆止弁・ストレーナ付元バルブ (給水・給湯用) 2個

排水栓本体 ASSY

Pトラップ ASSY

防臭キャップ

エルボ (サーモバルブ接続用) 2個

メッキ付エルボ (ストレーナ付元バルブ接続用) 2個

両ニップル 30mm 2個

止水栓座金 2個

エストラマー管 300mm (ミキシングバルブとストップバルブ接続用)

エストラマー管 200mm (ミキシングバルブと元バルブ接続用) 2個

13mm ノンアスパッキン 4枚 (他にエストラマー管付属の6枚)

専用スパナ (23H×24H)

排水栓締付け金具 (施工される店舗に1個付属)



シャンプーユニット本体



バックハンガー



バックハンガー
固定用タッピングビス
6×65 8本



ベッシン固定ボルト
(M8×18 ボルト・平
ワッシャー・袋ナット)



シャワーホース



逆止弁・ストレーナ付元バルブ
(給水・給湯用) 2個



排水栓本体 ASSY



Pトラップ ASSY



防臭キャップ



エルボ 2個
(サーモバルブ接続用)



メッキ付エルボ 2個
(ストレーナ付元バルブ接続用)



両ニップル 30mm 2個



止水栓座金 2個



エストラマー管 300mm
(ミキシングバルブとストップバルブ接続用)

エストラマー管 200mm 2個
(ミキシングバルブと元バルブ接続用)



13mm ノンアスパッキン 4枚



専用スパナ(23H×24H)



排水栓締付け金具

[2]各部の名称

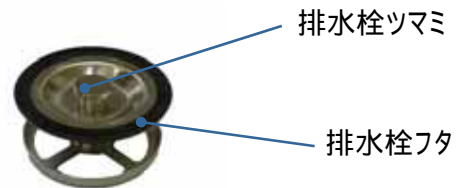
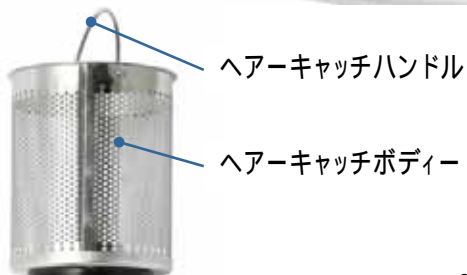
本体正面



本体側面



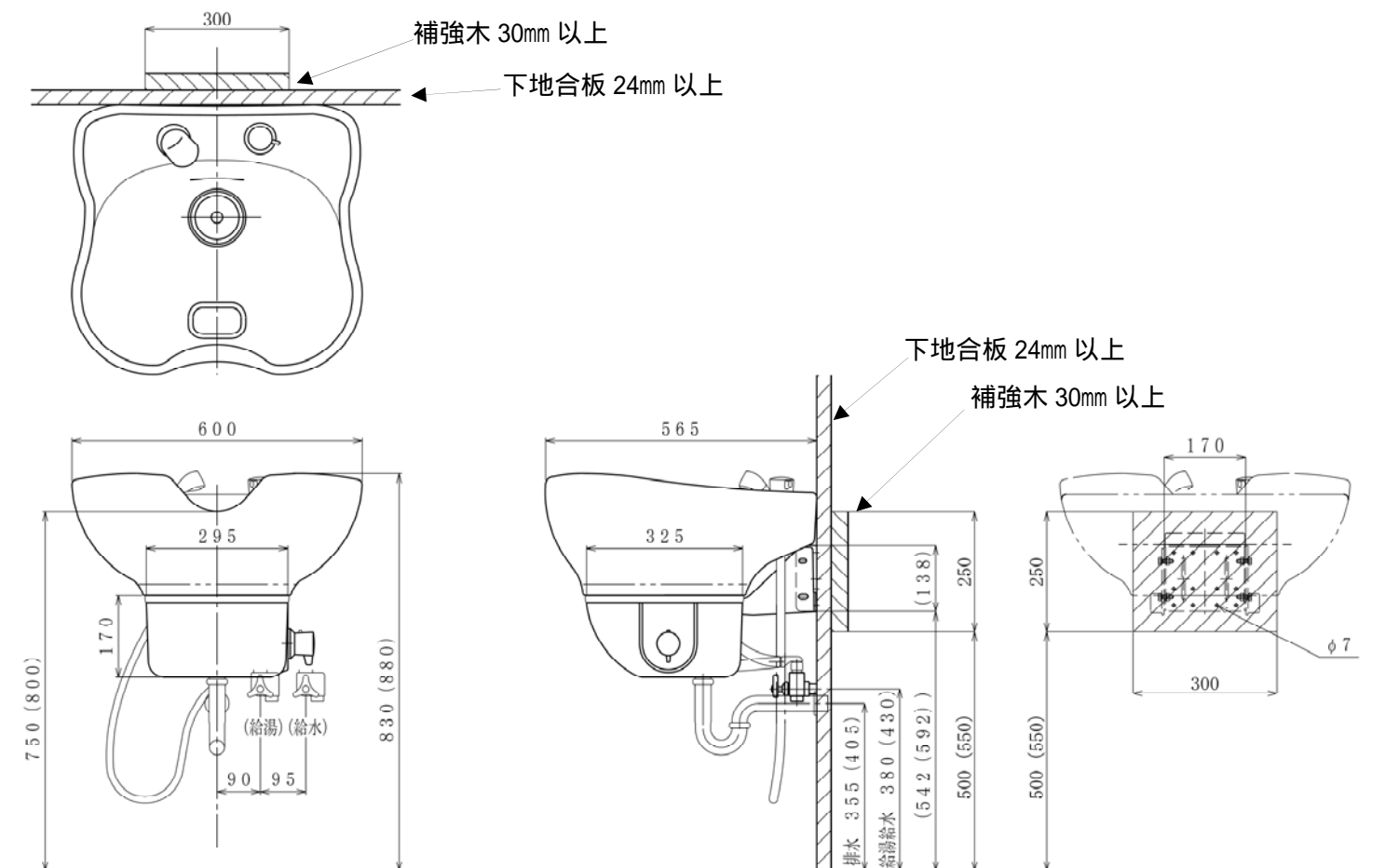
シャンプーベッシン



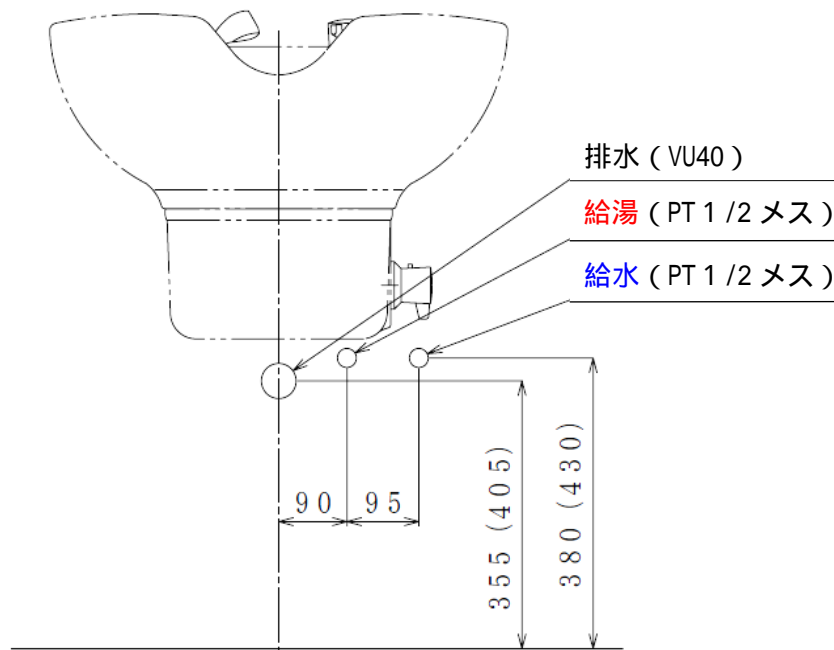
[3] 設置の前に

現場の確認と給排水位置図とシャンプーベッソンの取扱い方法

壁面の下地には 24mm 以上の JAS 規格合板 (相当) を使用して、バックハンガー取り付け部には 30mm 以上の補強木を追加してこの部分の厚さを 50mm 以上確保してある事を確認後に施工してください。



図はネック高さ 750mm の寸法です
() 内は高さ 800mm の寸法です。



配管施工について

配管施工については本書の内容を十分に理解した上で、正しい配管の施工をお願い致します。

給水配管

市水道直圧の場合、市水道直圧以外(高架水槽等を介す)の場合、いずれもその地域の水道局指定工事店に依頼して、その地域の水道局施工基準等の法規に従って工事を行なってください。

給水配管はVP管・HI管・硬質塩化ビニルライニング鋼管等を使用してください。

(錆の発生する材料の使用は避けてください。)

給水管・給湯管の取り出し口は逆止弁・ストレーナ付元バルブの脱着に必要な取り付け強度を確保してください。

給水管・給湯管の元バルブ接続部分は13mm(1/2) 2台以上を並列使用の場合、壁面内は20mm(3/4)以上の配管を使用台数、設置のレイアウトを考慮してご使用ください。

排水管の接続部VU40 2台以上を並列使用の場合壁面内はVU50以上の

排水管を使用台数、設置のレイアウトを考慮してご使用ください。

排水管には勾配を設けてください。

給水管・給湯管は同径にて施工してください。

給水圧力は給湯圧力より高くするか、同圧になるようにしてください。

給湯配管は銅管を使用してください。

給湯には蒸気は使用しないでください。

給湯器からの給湯配管は最短距離で接続してください。

水栓取り付け前には必ず配管内の清掃を行い配管内のゴミ、砂等を完全に洗い流してください。

破損や水漏れの原因となります。

配管接続後の通水テスト後に必ず、ストレーナとシャワーヘッドの清掃をしてください。

通水検査を実施していますので器具内に水が残っている場合がありますが、製品には問題ありません。

[4] 使用条件

給水・給湯について

給水は上水道を使用してください。(井戸水等使用不可)

給水圧力が0.75MPaを超える場合は、市販の減圧弁を設置して適性圧力に減圧してください。

最低必要圧力 = 0.1MPa(シャンプーユニットを数台並列配管して同時使用する場合にも1台あたりの水圧がシャンプーユニット接続部において動水圧0.1MPa以下にならないようにしてください。)

適正圧力 = 0.2~0.3MPa(シャンプーユニット1台あたり)

シャワー流量が多い場合は、ストレーナ付元バルブで適度な流量に調節してください。

参考値・シャンプーユニット接続部での給水・給湯圧力が下記数値の場合の40時シャワー流量

給水圧力 = 0.10MPa 給湯圧力 = 0.08MPa 時の40 シャワー流量は約8.5 /minです。

給水圧力 = 0.15MPa 給湯圧力 = 0.10MPa 時の40 シャワー流量は約9.5 /minです。

給水圧力 = 0.15MPa 給湯圧力 = 0.15MPa 時の40 シャワー流量は約11 /minです。

給水圧力 = 0.2MPa~0.3MPa 給湯圧力 = 0.2MPa 時の40 時シャワー流量は約13 /minです。

給湯器設定温度 = 60 ミキシングバルブ設定温度 = 40 水温 15 時

シャワー流量は設置条件(給湯器・配管距離・配管径等)により異なり、上記の数値は目安です。

給湯温度は、ご使用になる温度より10程度高く設定してください。推奨給湯温度 = 50 ~ 60

使用条件(使用台数)を加味し、適正な能力の給湯器をご選択ください。給湯器の給湯能力が不足しますと適正な吐水量及び吐水温度が得られない原因となります。参考・ガス瞬間湯沸かし器をご使用の場合は、16号相当の給湯器1台でシャンプーユニット1台分の給湯能力になります。

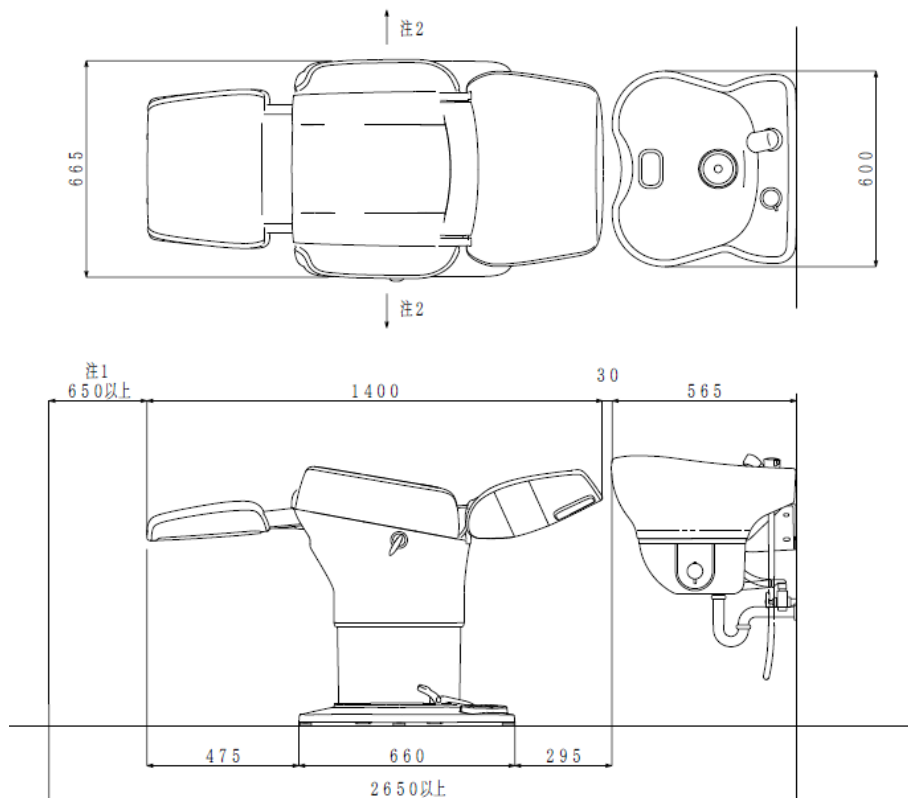
給湯源に標準圧力型電気温水器をご選択の場合、給湯圧力が低く、適正な吐水量及び吐水温度が得られないことがあります。ご注意ください。

給湯源に高圧力型及び直圧式の電気温水器をご選択された場合の推奨給湯温度は60 から65 です。

(給湯温度は70以下でご使用ください)

高温でのご使用は水栓金具の寿命を短くし、破損や水漏れの原因となります。

[5] 設置スペースの確認



注 1 レッグレスト先端から壁面又は家具まで 650mm 以上 フットケアをされる場合は 1000mm 以上
 注 2 600mm 以上 (通路を含む場合は 800mm 以上) ハンドケアをされる場合は 1000mm 以上
 シャンプーチェアはリザーブ マルチチェア RS-002 の寸法図です。

[6] 施工時のシャンプーベッ신의取扱い方法

- 1、ベッ신을床に仮置きする場合は背面を下にしてください。

[写真 6 1A]

- 2、ベッ신을壁面に取り付ける時にベッ신의両側を持って取付けてください。 [写真 6 2A]



[写真 6 1A]



[写真 6 2A]

△注意

設置時にベッ신의本体カバーを持って壁面に取り付けをしないでください。
 本体カバー(樹脂部品)が破損します。

[7] 設置

- 1、逆止弁・ストレーナ付元バルブと防臭キャップを取り付けます。 [写真 7 1A]
 (給湯と給水の接続口は元バルブの脱着に必要な取り付け強度を確保してください)

△注意

付属品の元バルブ以外の止水栓は絶対に使用しないでください。
 シャンプーユニットに接続する前に必ず、ゴミ、砂、油等の配管内のくずを除去した後にエストラマー管を取付けてください。



[写真 7 1A]

2、バックハンガーを壁面に仮止めしてください。

床からバックハンガーの下面が 542mm になる様に 2 本の
タッピングビスでバックハンガーを固定してください。[写真 7 2A]
(ネック高さが 800mm の場合はバックハンガーの下面は 592mm です)

ベッ신의仮止め時にベッ신의ステーで壁面に傷を付けない為に
バックハンガーの左右に養生テープ等を貼って作業をしてください。[写真 7 2B]



[写真 7 2B]

バックハンガーには必ず、同じ製造番号のベッシンを載せてください。
[写真 7 2C]

バックハンガーとベース板には製造番号を記入したラベルが貼って
あります。必ずこの番号を合せて取り付けてください。



[写真 7 2C]

△注意

ベッシンとバックハンガーの番号を合わせずに取り付けを
されますとベッシンが傾いて取り付いたり、ベッシンがバック
ハンガーに収まらずにベッシンが破損する恐れがあります。

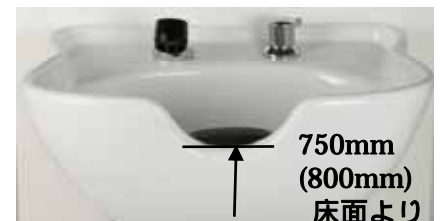
ベッシンと壁面との間には 1mm 程度のスキマがあります。

3、ベッシンをバックハンガーに取り付けてネック高さの確認をしてください。
ネック高さが所定の高さと異なる場合はバックハンガーの位置を調整
した後に 6 本のタッピングビスでバックハンガーを壁面に完全に
固定してください。[写真 7 3A] [写真 7 3B]



[写真 7 3A]

4、ベッシンを壁面に取り付け後は直ちに 4 本のボルトでベッシンと
バックハンガーを固定してください。 [写真 7 4A]

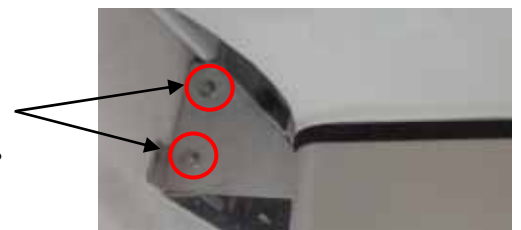


[写真 7 3B]

△注意

ベッシンは 4 本のボルトで壁面に固定される構造です。
ベッシンをボルトで固定されずに作業を進めると、
ベッシンが破壊する恐れがあります。ご注意ください。

ネック高さの確認後は直ちに
4 本のボルトでバックハンガー
にベッシンを固定してください。



[写真 7 4A]

5、給水・給湯部品を取り付ける。

取り付けには付属の専用スパナ(23H×24H)を使用してください。 [写真7 5A]

給水・給湯の逆止弁・ストレーナ付止水栓にメッキ付エルボを仮締め状態で取り付けてください。

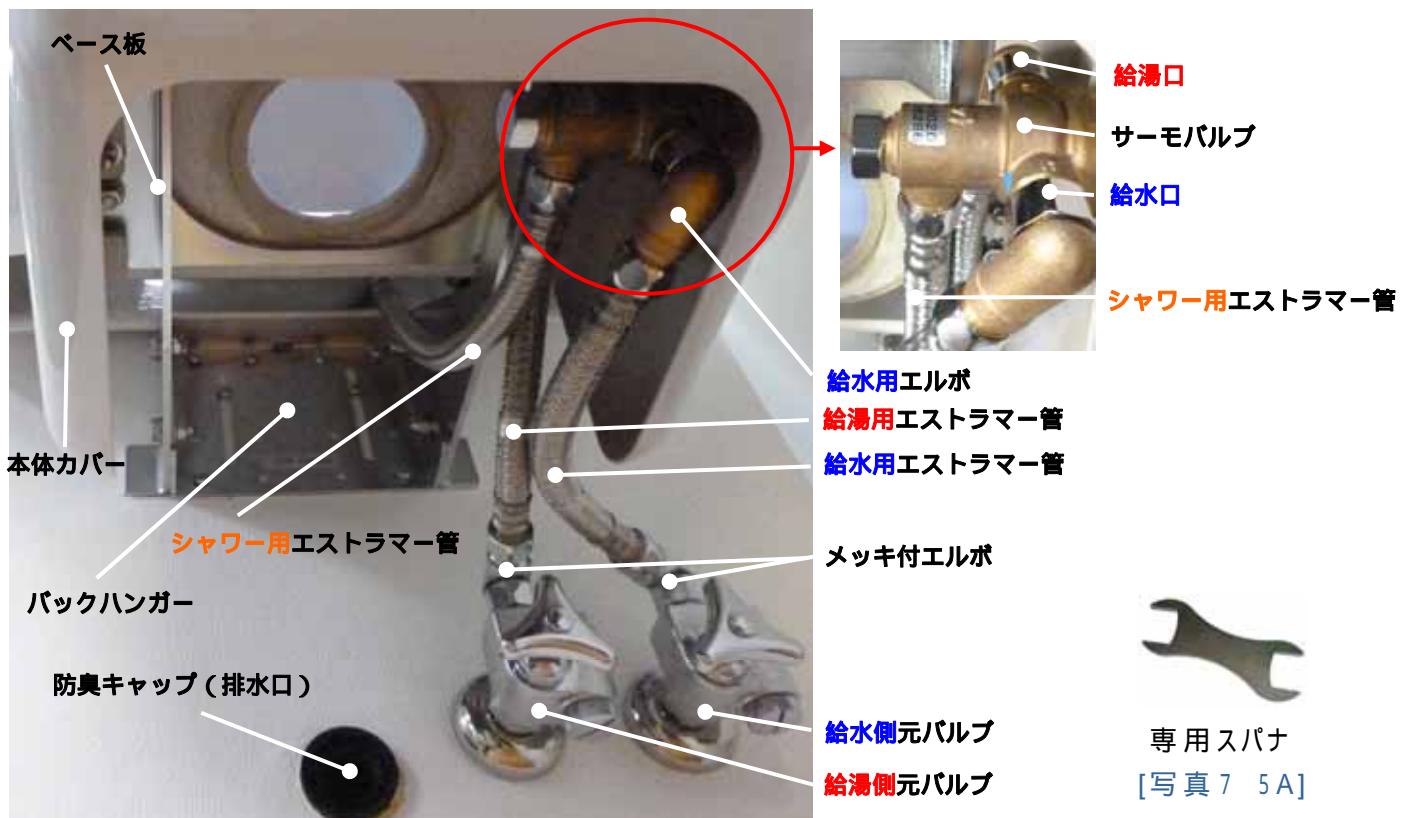
サーモバルブの給水口と給湯口にエルボとエストラマー管(200mm)を仮締め状態で取り付けてください。

給湯、給水のエストラマー管を元バルブのエルボに取り付けて、本締めをしてください。

(給湯水エストラマー管の長さ調節はエルボの取り付け角度で行ってください)

[写真7 5B]

止水栓とサーモバルブのシャワー口にエストラマー管と取付けて本締めをしてください。



[写真7 5B]



⚠注意

本体カバーは樹脂製です。配管接続時に本体カバーに強い力を加えますと破損する場合があります。

6、シャワーホースの取り付け。

シャワーホースのナットを図の様にシャワーホースから外して、シャワーホースの矢印部分にシリコンスプレー等の潤滑剤をスプレーしてください。 [写真7 6A]
(シャワーホース取り付け時にホースにねじれが生じない為にです)



[写真7 6A]

シャワーホースは画像の様にベース板の外側に来る様にしてください。[写真7 6B] [写真7 6C]
 シャワーホースはねじれが生じない様に取り付けてください。
 (壁面に対してシャワーホースの左右が平行になる様にしてください) [写真7 6C]



ベース板

[写真7 6B]



[写真7 6C]

△注意

シャワーホースにねじれが生じたまま取り付けると
 シャワーホースの出し入れがスムーズに行えません。

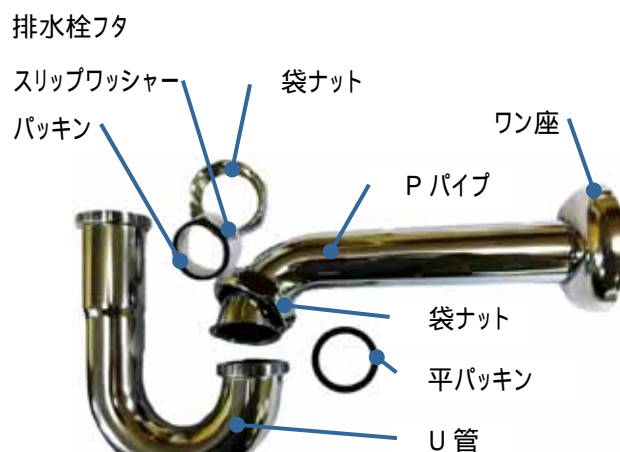
7、排水栓部品の詳細

排水栓フランジ
 排水栓パッキン(軟質)
 排水栓パッキン(大)
 スリップワッシャー
 排水栓

Pトラップ接続管
 2吋ナット
 スリップワッシャー
 パッキン
 袋ナット

U管
 平パッキン
 Pパイプ
 袋ナット
 ワン座

排水栓フタ
 ヘアーキャッチ



8、排水栓を取り付ける。

- 1) 排水栓フランジに 排水栓パッキン（軟質）を取り付ける
- 2) 排水栓本体に 排水栓パッキン(大)と スリップワッシャーを載せて 排水栓フランジの十字溝がベッシンに対して正面に来る様に 排水栓本体を手締めしてください [写真7 8A]
- 3) 排水栓を排水栓締め付け金具で本締めしてください [写真7 8B]
- 4) ヘアーキャッチを 排水栓の中に収納して、 排水栓フタを取り付けてください。



[写真7 8A]



[写真7 8B]

9、Pトラップ管を取り付ける。

- 1) Pトラップ接続管に 袋ナット スリップワッシャー パッキンを入れて U 管に挿入して 袋ナットを軽く締めてください。
- 2) Pパイプに 袋ナットを入れて U 管の間に 平パッキンを入れて軽く締めてください。
- 3) Pパイプに ワン座を入れて排水口に挿入してください。
- 4) 排水栓に仮組みした Pトラップを取付けた後に各部を本締めしてください。シャワーホースは Pトラップ接続管の上にくる様にしてください。 [写真7 9A]



[写真7 9A]

[8] ストップバルブのご使用方法

シャワーを止める時はストップバルブを右に一杯回してください。 [写真 8 A]
ストップバルブのハンドルを左に回すとシャワー口から吐水します。
左へいっぱい回すと吐水量が最大になります。 [写真 8 B]



[写真 8 A]
止水時ハンドル位置



[写真 8 B]
シャワー吐水時ハンドル位置

[9] ミキシングバルブのご使用方法

ミキシングバルブを左に回すとシャワー温度が高くなり、
右に回すとシャワー温度が低くなります。

温度調節ハンドルを回して安全ボタンをお望みの
ダイヤル位置に合わせてください。
(ダイヤルの数字は湯温を示す目安としてください)

温度調節ハンドルには誤って熱湯を出さない様に安全ボタン
が付いています。温度調節ハンドルは 40 近辺の目盛りで
ロックされていますから、40 以上のシャワーを出すときは、
安全ボタンを押しながらミキシングバルブを左に回してください。 [写真 9-A]

安全ボタン



[写真 9-A]

[10] 通水テスト

1、通水して各部の水漏れをチェックしてください。

△注意

輸送中に接続部が緩んで、水漏れする場合があります。シャンプーユニットの接続部分すべての水漏れチェックをしてください。



[写真 10 2A] 元バルブ



[写真 10 2B]
ストレーナ

2、通水後シャワーににごりがなくなった後、ストレーナ及び
シャワーヘッドの内部を清掃して下さい。 [写真 10 2A] [写真 10 2B]

元バルブ(給水・給湯)を閉じます。(ハンドルを右に回します。)

ストレーナ付逆止弁のキャップを左に回してストレーナ付逆止弁を取り出します。

ストレーナ付逆止弁を清掃し、元バルブ内部のゴミを除去します。
元バルブ内部を清掃後、ストレーナ付逆止弁を本体に戻します。
元バルブ(給水・給湯)を開き、シャワーを出してください。
シャワーヘッドを外して内部をシャワーで洗い流してください。

- 3、給湯、給水圧力は同圧又は一定であるか、チェックしてください。
- 4、給水・給湯の圧力バランスが悪い時はストレーナ元バルブで流量を調節してください。
- 5、温度調節は正常にあるか、チェックしてください。

[11] シャワー圧力・シャワー流量の確認

シャワー流量を確認してください。

シャワー流量が 12 /min を超える場合はストレーナ元バルブにて給水・給湯の流量を調節してください。

[12] ミキシングバルブの調整方法

サーモバルブがダイヤル通りのお湯が出ることを確認してください。

取付け現場の給湯器の種類、給水・給湯の圧力差等の状況によってはダイヤル通りのシャワー温度にならない場合があります。
この場合は以下の手順で、温度調節ハンドルの調整をして下さい。

40 シャワー時にミキシングバルブ位置が、右図のように
安全ボタンが 40 の位置にこない場合に
ミキシングハンドルの位置を変更します。

[写真 11-A] [写真 11-B]



[写真 11-A]



[写真 11-B]

40 のシャワー温度がでる位置にミキシングバルブを回す。

この位置でミキシングハンドルを引っ張り、取り外します。

[写真 11 C]

安全ボタンが 40 の位置に来る様にハンドルをはめ直します。

[写真 11 D]



[写真 11 C]
ミキシングハンドル
を取外した状態



[写真 11 D]
40 の位置に安全
ロックボタンが、中
央(上部)にくるよ
うにミキシングハンド
ルをはめ直します。

[13] ベッシンのコーキング(シーリング)処理

ベッシンと壁面のスキマにコーキング処理をしてください。

ベッシンと壁面の汚れを取り除いてください。

[写真 12-A]

ベッシンと壁面にマスキングテープを貼ってください。

[写真 12-B]

シーリング材をベッシンと壁面のスキマに充填してください。

[写真 12-C]

はみ出したシーリング材は速やかに除去してください。

[写真 12-D]

マスキングテープを除去してください。 [写真 12-E]

シーリング材はシリコン系のクリア色をお勧めします。

以上で工事の完了です。



[写真 12-A]



[写真 12-B]



[写真 12-C]



[写真 12-D]



[写真 12-E]

△注意

ベッシンと壁面のスキマにコーキング処理をされませんと、シャンプー時のシャワー水でバックハンガー等のメッキ部分の腐食原因になります。

[14] 設置が終わったら

以下の項目を点検してください。

シャンプーユニットと壁面にガタつきは無いか。

各部の水漏れ再検査。

(ストップバルブ・サーモバルブ・給水・給湯の各接続部及び排水栓・Pトラップ)

工事終了後、本書及び取扱説明書、専用スパナ、排水栓締付け金具はサロン様にお渡しください。

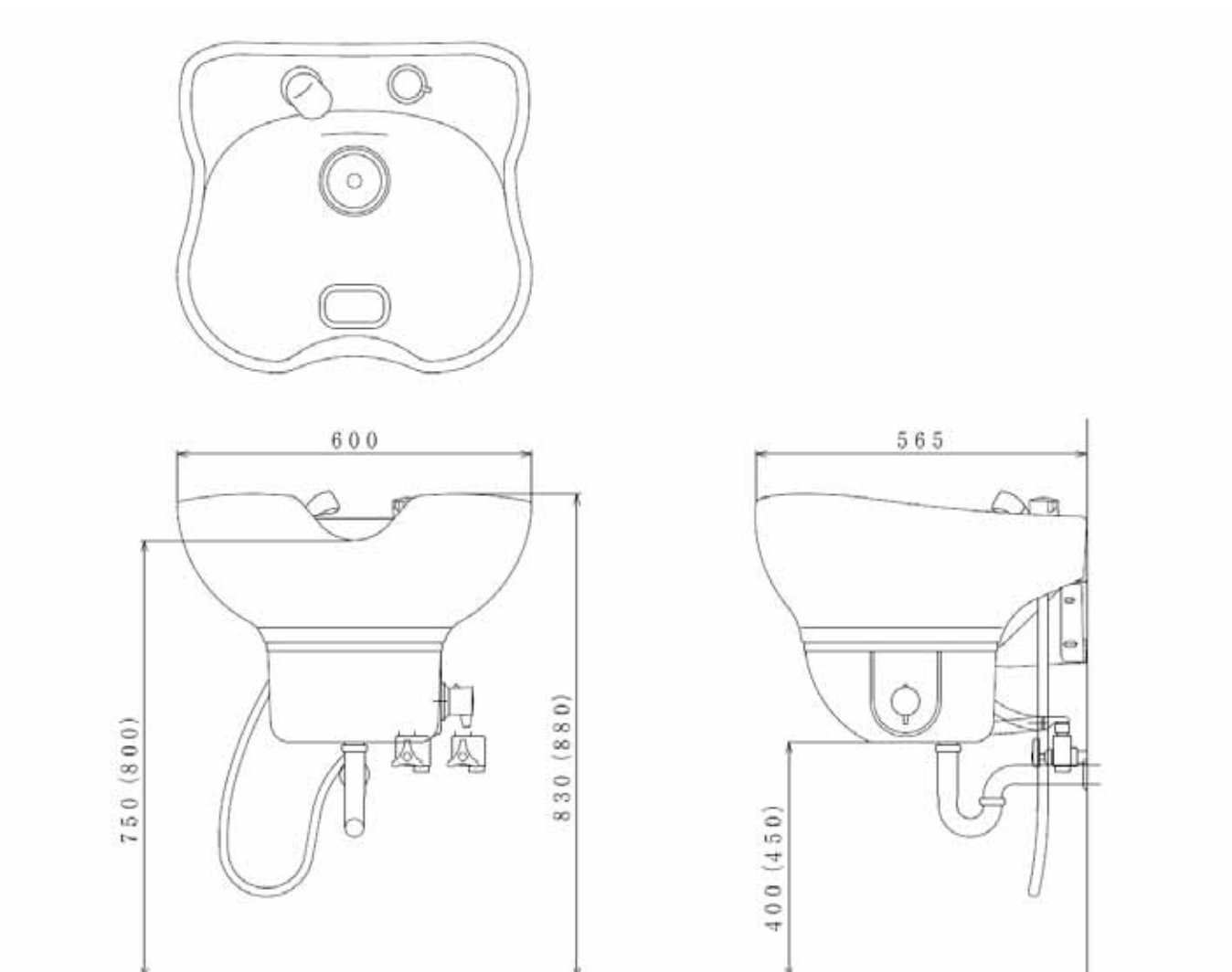
[15] 定格仕様・寸法

定格仕様

商品名 : スタリオン STALLION A 壁付仕様
型式番号 : T904-00
外形寸法 : 幅 600 mm × 奥行 557 mm × 高さ 430 mm
重量 : 約 28Kg
温度制御 : サーモキシングバルブ(形状記憶合金方式)

寸法

ネック高さ 750mm の場合 () はネック高さ 800 mm の寸法



[16] 工事完了後の点検項目 (施工工事店様記入箇所)

施工完了証

本製品の施工に伴い以下を確認致しました(点検項目「 」に「レ」を入れてください)		
施工完了日: _____ 年 月 日		
工事店様	ご住所	〒 □□□-□□□□ TEL: _____ - _____
	店名	_____ 担当: _____

点検項目 (「 」に「レ」を入れてください)

シャンプーベッソンはバックハンガーに4本のボルトで固定されている事。

給水・給湯の元バルブは逆止弁とストレーナ内蔵のスタリオン A の付属品が取付けられている事。

給水・給湯管～サーモバルブ接続部に水漏れの無い事。

ストップバルブ接続部及びシャワーホース、ミキシングバルブ接続部に水漏れの無い事。

封水トラップ取付け部～Pトラップの接続部に水漏れの無い事。

シャンプーベッソン(陶器)にヒビ・欠けの無い事。又、シャーシー(本体)に傷・ヘコミ等が無い事。

サロン様へ

漏水による修理以外のトラブルに際しましては、上記工事店様への相談にあわせ下記、最寄りの営業所へご連絡下さいます様、お願い申し上げます。

販売元

滝川株式会社

<http://www.takigawa.co.jp>

本 社

〒111-8511 東京都台東区元浅草 3-2-1
TEL:03-3845-2111 FAX:03-3845-0123

大阪営業所

〒550-0004 大阪府大阪市西区靱本町 2-3-2
TEL:06-6446-1155 FAX:06-6446-1222

名古屋営業所

〒453-0014 愛知県名古屋市中村区則武 2-6-17 名駅フォーレ
TEL:052-451-4111 FAX:052-451-4112

札幌営業所

〒064-0809 北海道札幌市中央区南 9 条 2-2-22
TEL:011-531-2121 FAX:011-531-6789

製造元

株式会社サンスターステンレス